

入力画面例

試験情報

調査件名 共同調査調査(その他)
 調査者名 株式会社〇〇コンサルタンツ
 元主観測者名 国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所〇〇課

地点名 B-2 標高 T.P.m 2.55
 試験開始年月日 2009-08-08 試験終了年月日 2009-08-08

夏経 135 度 49 分 58.1234 秒
 北経 34 度 59 分 53.9876 秒

径厚・経厚の取得方法 [02 地形図読み取り] 径の精度 1/10,000秒(約mm)法で
 同上説明 1,000分の1地形図(約0.1mm単位で読み取り) 旧測地系 旧測地系

ローカル座標
 座標定義 X 座標値 3000.000 測点名 ST0001
 座標定義 Y 座標値 4000.000
 座標定義 DL 座標値 50.00 上層深度 m 2.50
 座標定義 座標値 下層深度 m
 座標定義 座標値 試験者 地盤太郎

ボーリング交換用データファイル挿入

特記事項 第4サイクルで周辺地盤の盛り上がりが見えなくなったので、載荷を終了し、その最大圧力を極限支持力とした。

・表形式やメニュー形式画面での平易なデータ入力が可能です。

・指定したボーリング交換用データ (XML ファイル) の地点情報などを取り込むことができます。

・指定した CSV ファイルの内容を、入力表に表示することができます。また、EXCEL で表示可能な場合は、直接 EXCEL のデータをコピーすることもできます。

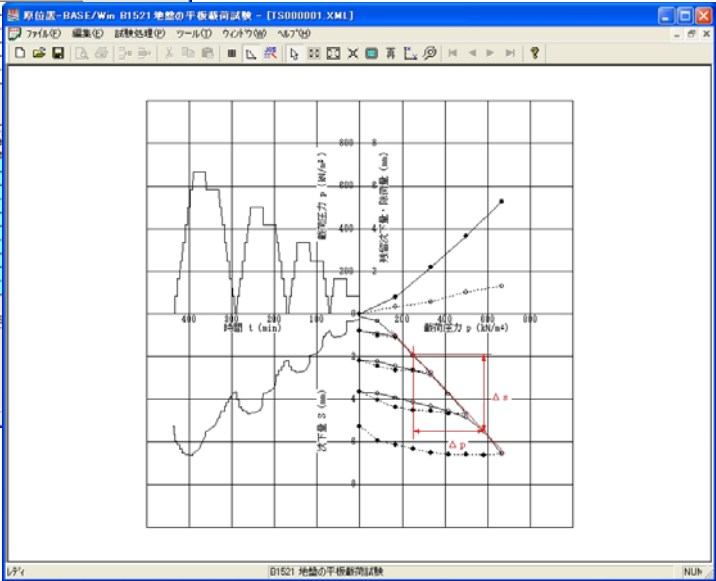
試験地盤の観察結果 試験深さ 0L-2.5m 標準じり試験 天候 晴

地下水の状況 地下水なし 新荷板の寸法 cm φ30×2.5
 新荷板の形状 円形鋼板 新荷板の面積 A m²
 プラットの種類 単径 2mm 鋼 鋼材の耐力 kN
 圧力伝達の種類 実荷重リソウキョウ 荷重計の耐圧係数 kN/m²/目盛
 新荷方法 段階式増速、新荷 実荷計番号と方位の關係

測定 子儀新荷

サイクル	荷重計の読み込み R	新荷圧力 p (kN/m ²)	時刻	経過時間 t (min)	実荷計の読み込み mm				実荷計の平均
					1	2	3	4	
1	0.0	0.0	11:00	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	15.0	41.7	11:00	0	0.06	0.19	0.09	0.15	
3	0.0	0.0	11:00	0	0.06	0.19	0.09	0.15	
4	0.0	0.0	11:01	1	0.06	0.19	0.09	0.15	
5	15.0	41.7	11:01	0	0.06	0.20	0.09	0.15	
6	0.0	0.0	11:01	0	0.06	0.20	0.06	0.19	
7	0.0	0.0	11:02	1	0.06	0.20	0.06	0.15	
8									
9									
10									

測定結果
 測定面積あたりの荷重変化量 Δp kN/m² 333.3 地盤反力係数 Kv kN/m³ 94.0
 Δpに対応する沈下量 Δs mm 3.34 極限支持力 kN/m² 887.1



作図処理画面例 ▶

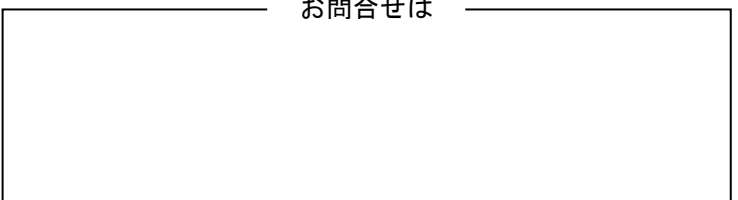
■動作環境

- 本体 : Windows 98/Me/NT/2000/XP/Vista/7/8/10 が動作するパーソナルコンピュータ
- OS : Windows 98/Me/NT/2000/XP/Vista/7/8/10 デスクトップモード
- プリンタ : Windows 対応機器

基礎地盤コンサルタンツ株式会社 システム開発室

〒136-8577 東京都江東区亀戸 1-5-7
 錦糸町プライムタワー12F
 TEL : 03-6861-8800(代)
 03-6861-8856(直)

お問合せは



※ Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
 ※ Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 ※ 改良のため予告なしに仕様を変更することがあります。